

各位

2020年3月10日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：岩本  
TEL：03-6863-0048

### 旅行取扱状況の概観（令和2年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 88.7%、学生団体は同 95.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同 90.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比 102.1%と前年を上回り、個人旅行については同 90.3%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 97.5%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 101.5%、学生団体は同 100.2%と前年を上回り、団体旅行合計で同 100.7%と前年を上回った。企画旅行については前年比 90.5%と前年を下回り、個人旅行については同 89.6%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 92.3%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 99.1%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前年比 94.3%となり、前年を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、例年1月開催の国際交流イベントの開催月ずれやインセンティブ旅行などの取扱の減少により、前年比 88.7%と前年を下回った。学生団体は、留学や語学研修の取扱単価が拡大した一方で、修学旅行の取扱の減少により、同 95.0%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 90.7%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比 102.1%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、低迷が続く香港や韓国を含むアジア方面が不調であったが、ハワイやマイクロネシア方面を中心に他の方面はほぼ好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア、スペイン）、西欧（フランス）、北欧（オーロラ）が堅調に推移した。北米（西海岸）、オセアニアも堅調に推移している。一方で、カナダ、中国、アジア（香港、韓国）は低迷が続いている。東南アジアではシンガポール、インドネシアが堅調であったが、タイ、カンボジアは低調に推移することとなった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 97.5%と前年を下回った。

##### 2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊商品や団体旅行の取扱人数が増加した一方で、団体旅行の取扱単価の減少やレールパスの取扱が不調に推移し、前年比 99.1%と前年を下回った。

##### 3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、前年開催の大型職場旅行の反動減があった一方で、企業系コンベンションの取扱人数の増加やスポーツイベントの取扱いの増加などにより、前年比 101.5%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数が減少したが、研修旅行やスポーツを中心とした各種大会などの取扱人数が増加したことにより、同 100.2%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比 100.7%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比 90.5%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、中国方面は堅調に推移したが、その他の方面は不調であった。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道東）、北東北、東海・伊勢・南紀が堅調に推移した。一方で南東北、関東、中部、北陸、関西、山陰・山陽、四国、九州、沖縄、離島は低調に推移することとなった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 92.3%と前年を下回った。

以上